

20240118 第 164 回「運輸の日」

2024 年初の「運輸の日」を大和市東神トラックステーションにて実施。今回のメンバーは経験豊かな横浜地区連絡協議会から 6 名の精鋭達！運輸労連の横断幕も気持ち良くビッシッと決まり 2024 行動のスタートを切りました。



高橋議長(横浜地区連)よりあいさつがされ、中野事務局長より注意事項が示されスタート。今回は 2024 年改革

(問題)を目の前にして、企業からの説明会や指示に少しでも「なんか変だな～」と思ったら、運輸労連相談窓口へお問い合わせいただきたい。と悩み事等合わせて聞き込みを行いました。

～ドライバーさんから～

高速道路の深夜割引について、緑ナンバーはいつでも割引きで通過できるようにすれば、拘束時間や手前のパーキングや料金所前での待機車渋滞問題も解決できる。と意見を言っといってくれ！と言われました。

2024 年問題を目の前に、荷主に対しての運賃交渉がどのくらい世間で進んでいるのか知りたい。と話してくれた。

この前ここでやったアンケートかな～雑誌のネットに出てたよと、詳しく聞いてみたら、本当に出ていました。

良かったら見てください。



行動者からの感想



今日の組織対策行動で、ドライバーさんから、「今日は、アンケートはないの」と聞かれました。これは私たちが毎月、この場所での活動に対し、理解を示されているのか、それとも私たちに対する期待の表れではないかと、嬉しさとやる気が出てきました。これからもドライバーの皆さんの声を、届けられるところに届けてまいります。

高橋 徹（ヤマト運輸労働組合横浜支部）

10:00 からパンフレット配布を中心に行いましたが、東神 TS はすでに満車状態で、ほとんどのトラックがカーテンをひき休憩中でパンフレット配布は思うようには進みませんでした。

それでも数人のドライバーさんと話をすると、まずは賃金への不満でした。時間外減による収入減となっている実態です。そしてドライバーさん達が心配しているのはドライバー不足でした。自身の会社のドライバーも高年齢になってきて、この先、どうなるのだろうか？という話もありました。

困ったことがあったら運輸労連に相談することも考えてもらうように話しました。

中野 一徳（全日通労働組合神奈川支部）

日向にいと春を思わせるような陽気で行動日和でした。

今回は自身の会社における日頃の疑問・問題点等に関してドライバーの皆さんにお聞きしました。

皆さん、2024年4月～の内容については周知してましたが、やはり自身の生活に直結する時間外減に伴う手取り減少についての声が多かったように思えました。

今春闘においても、15000円の満額に向けて各単組での取り組みが必要だと改めて強く感じました。

今後も継続して活動を行っていきたいと思います。ありがとうございました。

郷家 英樹（全日通労働組合神奈川支部）

少し暖かい空の下東神トラックステーションにて開催された「運輸の日」に参加しました。

本日はパンフレットとリーフレットの配布し、労働に関する悩みや相談ごとは運輸労連フリーダイヤルに問い合わせして頂く様にアナウンスさせていただきました。

その中、高速料金の取扱い方や運賃、賃金の在り方などの貴重な意見をいただきながら無事に行動を終えました。

本日はトラック産業に従事されるドライバーの方に諸問題の相談窓口の告知としてパンフレットの配布を行いました。

運輸労連の活動の認知度が東神トラックステーションで広まっており、快くパンフレットを受け取って頂きました。その中で休憩の取れる場所が少なくトラックステーションも手狭で休憩場所の確保が大変であるという意見や、2024年問題により走行距離や労働時間の短縮に伴い賃金の減少による雇用を守るための荷主にたいした運賃交渉の進捗状況などの質問も頂きました。

様々な問題が山積されるトラック産業の現状打破に行政の早い動きに期待せざるを得ません。

佐藤井左夫(ヤマト運輸労働組合横浜支部)

快晴の天気の中での活動日和、今日は午前中から満車^満状態で、入れ替えが場所によっては無い感じでした。今回は働いている会社での悩み事やトラック産業に関してのパンフレットの配布をしました。しっかりと社員に対して働き方が出来ている会社もありました。意見としてみどりナンバー車の夜中の割引きを日中もやって欲しいとの意見がありました。運輸産業全体の様々な取り組みが必要と感じました。これからも地道に活動をして産業全体が良くなればと思いました。

伊丹 正彦(ヤマト運輸労働組合湘南支部)

